

JASIS 2026

Japan Analytical & Scientific Instruments Show

最先端科学・分析システム &ソリューション展

9月 02 WED 03 THU 04 FRI

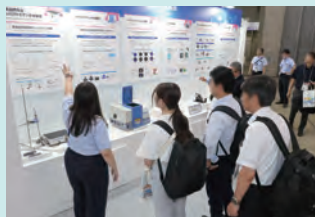
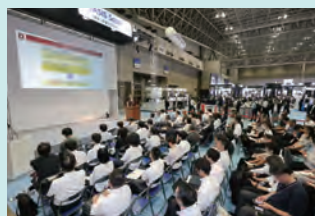
10:00~17:00

会場 幕張メッセ

入
場
無
料

『測る』が支える未来の社会

400社超の出展社による展示と300件以上のセミナーを実施!



『WEB事前来場登録』をご利用ください!

ご来場の際は、入場証をカラー印刷してご持参ください

WEB事前来場登録で各会場に直接入場できます!

JASISオフィシャルサイトとWebExpoが一体化。

JASIS WebExpo ポイント貯まります!

2026 7/1 WED 10:00 ▶ 2026 10/30 FRI 17:00

事前来場登録と
WebExpoは
こちら



www.jasis.jp

9/1(火)までに出展社情報を見て貯めたポイントは、9/2(水)~9/4(金)に幕張会場の抽選会で使えます!!

出展社400社以上の情報をチェックできる見やすいサイトにリニューアル。前回JASISの人気セミナー動画を多数掲載。分析機器・科学機器の最新情報が集結します。

主催 JAIMA 一般社団法人 日本分析機器工業会
Japan Analytical Instruments Manufacturers' Association

後援 JSIA 一般社団法人 日本科学機器協会
Japan Scientific Instruments Association

後援 経済産業省、文部科学省、公益社団法人日本分析化学会、
米国大使館 商務部 他(予定)

光熱変換赤外顕微分光装置 (O-PTIR)

エス・ティ・ジャパンがお届けします!

O-PTIRは、測定対象試料が赤外光を吸収した時に起きる体積の変化を可視レーザーのプロープ光を用いて、その散乱強度変化を赤外スペクトルとして取得する装置です。

O-PTIRでは、従来の顕微FTIRでは測定が困難であった赤外光回折限界を超えた空間分解能 (>500nm) で赤外分析が可能となります。



JASIS 製品説明セミナー

9月3日 (木)

12:30~13:00

メッセ103会議室

「オプティカルフォトサーマル (光熱) 赤外顕微分光光度計の装置と応用」

講師：関西学院大学名誉教授 尾崎幸洋 先生

Jupiter

Solid nebulizer

レーザーアブレーションの
“当たり前”を、もう一段上へ。

fsレーザー、ガルバノ光学系搭載により定量精度を確保したJupiter Solid nebulizer。
新たに機能をアップグレードしました。

新機能

1. 強化された撮像系による高解像度試料観察
2. 片手で試料交換可能な新型スライドセルによる、位置再現性、メンテナンス性の向上
3. スポット径可変 (5~15 μm) *
4. オートローダーによる自動測定 *
5. 新開発2D・3Dソフトウェア (XQuant3D) *
6. 無機有機ハイブリッド分析

*オプション



JASIS 製品紹介セミナー

9月4日 (金)

15:00~15:30

TKP会場No.9

「レーザーアブレーション法を用いた無機元素と有機分子の同時分析」

講師：東京大学大学院教授 平田岳史 先生



Booth No: 5B-101

JASIS 2026に出展いたします。お気軽にお立ち寄りください。



株式会社 エス・ティ・ジャパン

URL: <https://www.stjapan.co.jp>

東京本社 /

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-14-10

TEL: 03-3666-2561 FAX: 03-3666-2658

大阪支店 /

〒540-6127 大阪府大阪市中央区城見2-1-61 ツイン21 MIDタワー

TEL: 06-6949-8444 FAX: 06-6449-8445

校正用ガス調製装置 パーミエーター

PD-1C/PD-1C-2

- 校正用ガスを長期間連続発生可能
- 校正用ガスの濃度調製範囲が広く、簡単に発生可能
- 重量減少量、希釈ガス量の基礎的物理量の測定で濃度決定するため高い信頼性
- 多くの種類の微量濃度校正用ガスを発生可能
- タッチスクリーンで発生希望ガス濃度を入力すると希釈ガス流量を自動計算
- マスフローコントローラ(ガス流量コントローラ)の搭載により、流量変化を制御



2流路仕様

PD-1C-2

NEW!

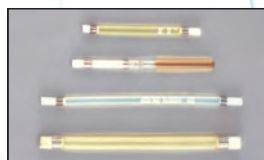
校正ガス発生原理

パーミエーターは、パーミエーションチューブやディフュージョンチューブをガス発生源とする校正用ガス調製装置です。パーミエーションチューブ、ディフュージョンチューブを恒温に保持すると、浸透拡散または蒸発拡散する量が一定となります。そこに空気や窒素などの希釈ガスを一定量送ることにより、微量濃度の校正用ガスを連続的に調製することができます。



1流路仕様

PD-1C



パーミエーションチューブ
*写真は一例です。



ディフュージョンチューブ 3100
単成分の校正用ガスを長期間連続発生するのに適しています。



多成分用ディフュージョンチューブ 3200
一つの流路で同時に4種類の校正用ガスを調製することが可能です。



混合・分岐器 (三方) PD25
二つの流路で調製した校正用ガスを混合することが可能です。また一つの流路で調製した校正用ガスを分岐することも可能です。



混合器 (二方) PD26
混合・分岐器 (三方) PD25 と併用することで、ガスの混合を促進します。



サンプリングポート PD27
校正用ガスを調製しながら、その一部を採取することが可能です。



加湿筒 PD28
希釈ガスを連続的に加湿することが可能です。推奨設定流量: 1L/min 以下



ディフュージョンチューブ D-50
ディフュージョンチューブ保持用二段かご PD23 を使用することで、高濃度の校正用ガスが発生可能です。



ディフュージョンチューブ D-50-4
ディフュージョンチューブ保持用二段かご PD23 または三段かご PD24 を使用することで、高濃度の校正用ガスが発生可能です。



ディフュージョンチューブ保持用二段かご PD23
ディフュージョンチューブ D-50 または D-50-4 を 2 本収納可能です。



ディフュージョンチューブ保持用三段かご PD24
ディフュージョンチューブ D-50-4 を 3 本収納可能です。

あらゆる気体の測定に



株式会社 ガステック

SINCE 1970

営業本部: 〒252-1195 神奈川県綾瀬市深谷中8-8-6 電話0467 (79) 3911 (代) Fax.0467 (79) 3979
西日本営業所: 〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-14 新大阪グランドビル 電話06 (6396) 1041 Fax.06 (6396) 1043
九州営業所: 〒812-0066 福岡市東区二又瀬11-9 パークサイドスクエア 電話092 (292) 1414 Fax.092 (292) 1424
ホームページアドレス: <https://www.gastec.co.jp/>

JASIS2026分析展／科学機器展に出展いたします。 7ホール ブースNo.7B-401

本展示会、桐山製作所は各種ガラス機器をはじめ蒸留装置、蒸留桐山パック/昇華精製装置/桐山ロート/安全マントルヒーターモノヒートなど多数ご紹介いたします。

恒例となりましたガラス細工の実演も行なっております。

多様な実験ニーズにお応えします桐山製品を是非ご覧ください。

アロマ蒸留装置等が当たる抽選も行ないます。ご来場をお待ちしております。

桐山自己与熱保温型蒸留塔／装置

従来の蒸留塔では、塔を高くしますと放熱量が多く内部還流が増して蒸気の上昇は困難になりフラッシングが起こり易くなります。これを防ぐ為外側に保温材やリボンヒーター等で保温しておりましたが、この場合内部の視認性や、温度分布を試料沸点と同調することは困難です。本蒸留塔は充填管の外側に蒸気層を有しており、ボトムフラスコからの上昇蒸気が充填管内部と外側の蒸気層に昇ります。この為自然な自己加熱保温がなされ容易な蒸留を可能にしております。

また、充填管外側には真空断熱層を設けておりますので外気の影響を受け難い三層構造です。本蒸留塔はシンプルな構造で、充填管が分離できる為充填物を多種組み替えることも容易にできます。

※スルザーラボパッキング25Φ、50Φにも対応しています。本装置のカタログがございます。下記までご請求下さい。

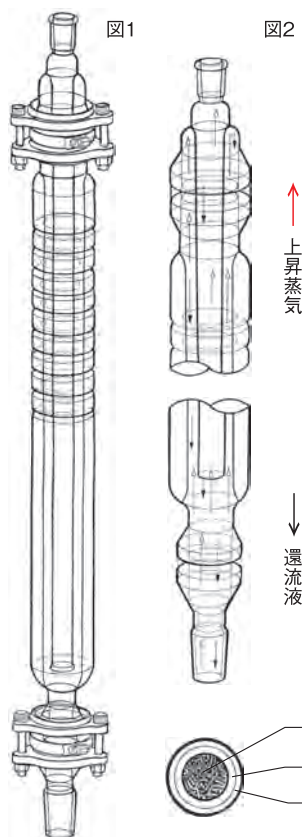


図1 自己与熱保温型蒸留塔の全体。
図2 自己与熱による加熱を示しております。

ボトムフラスコからの蒸気は、充填管の内部とこの外側の両方に上昇します。

この為充填管を自然な温度のもとに加熱する事が出来、比較的長い塔長でもフラッシングが起こり難い特徴を有します。

更に全体を外気から熱遮断した真空ジャケットを持つ3重構造となっております。

自己与熱保温蒸留塔の断面。

充填部
保温蒸気層
真空層



蒸留塔下部。外側は真空ジャケット付保温管によりフラッシングを防ぎます。

カタログをご請求ください

有機、無機化学等の透明摺り合わせ実験用ガラス機器を網羅しました桐山製品カタログ(全716頁A4判)がございます。基礎実験の各種装置から固体の昇華精製装置、バイオマス原料の蒸留膜分離装置、パイロットプラント、安全マントルヒーターや、各種公定書に準拠した機器類などを紹介しております。理化機器販売会社又は、当社までご請求をお待ちしております。

桐山ホームページ

ガラス細工の体験講習などをwebサイト上でご案内しております。アクセスをお待ちしております。

桐山製作所 検索
www.kiriyama.co.jp



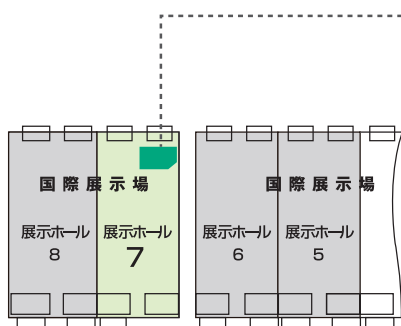
KIRIYAMA
有限会社 桐山製作所
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里2-31-11
TEL: 03-3802-0005 FAX: 03-3801-1170



ブース No.
7A-1001

**2026年9月2日(水)
～4日(金)**
会場：幕張メッセ

日本分光はJASIS 2026へ出展いたします。最新の各種分析機器やアプリケーションを取揃え、皆様のお仕事やご研究にお役立ていただける展示・企画をご用意しております。ぜひ弊社ブースへお立ち寄りください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



出展社セミナー

9月2日(水)	10:15～10:45	国際会議場 105室	【FT-IR・ラマン】このデータ、どう解析しますか? 分析目的に応じた解析ノウハウを一挙公開!
9月2日(水)	11:15～11:45	TKP会場 No.5	【HPLC】クロマトグラムだけじゃない! PDA検出器の基礎と多波長データの活用術
9月3日(木)	15:00～15:30	TKP会場 No.9	【FT-IR・ラマン】この試料、どう測りますか? サンプルに応じた測定ノウハウを一挙公開!
9月4日(金)	15:30～16:00	TKP会場 No.2	【UV・Vis】「なんとなく測定」を卒業! 正しく測るための実践ポイント

TKP：旧アパホテル&リゾート

JASIS WebEXPO 2026

先進機能を搭載したFTIRやレーザーラマン分光光度計、紫外可視近赤外分光光度計、分光蛍光光度計、さらにコンパクトな筐体に技術を凝集した HPLC や LC-MS など各種装置を測定目的に合わせた数多くのアプリケーションと共にご紹介いたします。



JASIS WebEXPO 2026
(JASIS へのご登録が必要です)

光と技術で未来を見つめる

日本分光

日本分光株式会社

〒192-8537 東京都八王子市石川町 2967-5
TEL 042(646)4111 内
FAX 042(646)4120

日本分光の最新情報はこちらから

<https://www.jasco.co.jp>

JASCO

日本分光HP



NS

NIHON SEIMITSU KAGAKU CO.,LTD

NS pump

High pressure plunger Pumps

高品質

高精度

高耐圧

日本精密科学のプランジャーポンプが、さらに使いやすくなりました！

KX型とNRX型がリニューアル！

- フロントパネルLEDが4桁表示に.....→
- 流量設定が1/10000ステップに
- 最小流量、0.1 μ l/minに (KX204-001型)
- 高耐圧、最大60MPa (KX504-010型)
- USB接続でデジタル通信可能に
- 外部入出力信号がカスタマイズ可能に



KX504型



KX204型



NRX04型

日本精密科学株式会社●詳細は... <https://www.nihon-exa-sci.com>

〒173-0011 東京都板橋区双葉町25-10 TEL.03-3964-1198 (代) FAX.03-3964-1199 e-mail:info@nihon-exa-sci.com

JASIS 2026

ご来場の際は、
ぜひ弊社ブースにお立ち寄りください。

新分析装置 分子回転共鳴装置 を紹介します！ (Molecular rotational resonance: MRR)

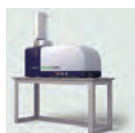
BrightSpec



米国 BrightSpec 社の分子回転共鳴 (MRR) プラットフォームはクロマトグラフィーや物理的標準物質、間接的な推論を必要とせずに低分子化合物の構造特異的な同定と定量を直接的に実現します。

MRR は気相回転スペクトルを測定することで、分子固有の 3 次元フィンガープリントを提供し

化学者が類似した異性体を区別し立体配置を確認し、揮発性化合物を確実に定量することを可能にします。



製造元 WEB

<https://brightspec.com/spectramrr>

代理店

**株式会社朝日ラボ交易**Mail info@asahilab.co.jpWeb <https://www.asahilab.co.jp/>

Phone 078-335-8613